

詩、踊る

CULTURE CITY OF EAST ASIA 2020 KITAKYUSHU "shi odoru"

通信 vol.4

権威ある藤村記念歴程賞を受賞した宗左近の長篇詩『炎える母』は、空襲に遭い目の前で母親が焼死するという衝撃の内容だ。そして母を見捨てて逃げた罪悪感に、今度は自分が焼かれ続ける。この重量級の作品を、ストリートダンスから舞踏カンパニー山海塾で活躍後、世界各地で創作を重ねる浅井信好が、いかに受け止め、ダンス作品としていくかを聞いた。

文:乗越たかお(作家・舞踊評論家) Norikoshi Takao

詩:宗 左近 × 振付・出演:浅井信好 『炎える母』 燃える詩、祈る身体 螺旋の中で、また出会うために

一衝撃的な内容の詩ですが、どのように取り組みますか。

僕の創作は「徹底的に研究分析しイメージができるから最後に動きを作る」というスタイルなんです。作品の核を掴んでいない動きは、見栄えが良くても薄っぺらいですからね。そのため詩だけではなく様々な資料を読み込むのですが、特に宗さんの『私の死生観』という本には感銘を受けました。宗さんは母親を亡んだ22年後に『炎える母』(1967)を書きましたが、そこから骨董に出会い縄文土器に傾注し『縄文』(1978)という詩集を出します。それは「母の命を奪った炎によって生み出された美」との出会いでもある。僕は今作を、生命の連環や輪廻といった宗さんの死生観そのものにフォーカスを当てた作品にしたいと思っています。

一浅井さんがチラシで引用されたのは「青い闇が 卷き貝みたいな風となって 赤く舞いあがる」という箇所でしたね。

『炎える母』は、母親が亡くなるところまでは客観的ですが、中盤は過去を振り返ったり罪悪感にさいなまされたりと、かなりカオスな内容なんです。そして最後に再び客観性を取り戻す。とても分析しづらい作品でした(笑)。

▶ ただ最初にこの詩を読んだとき、ピンときたのが色彩感覚なんです。引用したのもそこで、宗さんは青と赤の形容がじつに豊潤なんです。とくに鉛を含んだ沈むような青のイメージが僕の中に湧き上がってくる。虚無と共に母や同級生の死を抱えていた宗さんに色はどう見えていたのかを探っていきたいですね。

また「巻き貝」も重要で、貝がらの中は螺旋構造になっているじゃないですか。僕が数えたところ『炎える母』には「螺旋」という言葉が2回出てきますが、これは宗さんの身に降りかかる様々な事象を昇華するのに重要なワードだったと思うんです。縄文土器にも炎が天に向かって駆け上っていくような螺旋模様が見られ、それは大規模火災時に起こる炎の竜巻「火災旋風」や、母親との生物学的な絆であるDNAの二重螺旋、そして輪廻や回転に繋がっていく。そこで今作では、高さ6メートルの鉄製の螺旋構造を持つオブジェを作り、僕自身も旋回舞踊のように回転する踊りを考えています。

もうひとつ重要なのは、燃えている母を置き去りにして逃げるシーンです。ここで母親と自分は、横に逸れることのできない「炎の一本道」で繋がれていると書かれている。『炎える母』を書くまで、自分を責め続けた22年間はまさに逃げ場所のない一本道のような日々だったはずです。そのことも舞台美術や照明に反映したいと考えています。

▶ 一宗左近という人物の死生観が具現化された舞台美術ですね。言葉は使いますか。

使いません。母の死のシーンはドラマティックですが、ダンス作品は必ずしもストーリーを追うものではないので。出演する僕と井田亜彩実という女性ダンサーも「宗左近と母」ではなく、役割や性別も超えた身体として描きます。燃えるのは僕の方かもしれませんよ(笑)。

一曲や音はどうですか。

『炎える母』からはノイズや重厚な曲を連想しがちです。しかし宗さんの死生観を大局から考えると、違うイメージが浮かんでくるんですよ。過去は変えられない、でも現在の行動で未来は少し良くなるかもしれないという、虚無を越えてたどり着いた原始的な「祈り」のようなものです。ショッキングな母の死や罪悪感だけではない、希望を生み出す力としての「祈り」を伝える作品を創っていきたいですね。

東アジア文化都市2020北九州「詩、踊る」
11月7日(土)15:00開演
北九州芸術劇場 中劇場

極限まで研ぎ澄まされた踊り手の身体はどのようにつくられるのか? 心技体の秘密に迫る!

心

Q. リフレッシュ方法は何ですか?

あまり休むことをしないので、これと言つていですね。しかし、海外公演が多いのでそういう時は街を歩く中で新たなイメージネーションが湧いた時に高揚感を感じます。たぶん、自分にとって、高揚感=リフレッシュなのだと思います。

技

Q. 創作で大切にしていることは?

情報のインプットをとても大切にしています。創作の原点がビジュアルイメージからスタートすることが多いので、ダンスだけではなく、美術や音楽、建築、写真など多くのものに触れるようにしています。

体

Q. 体づくりの為にやっていることは?

基本的には踊りの中で、踊るための筋肉を作るようにしているので、特殊な訓練はしません。しかし、創作している作品に合った筋肉のバランスを毎回調整するので、そのための食事制限とトレーニングは行います。

vol.1~3は
劇場WEBサイトで

